

組NEWS合

Faculty and Staff Union of Kanazawa University
発行：金沢大学教職員組合執行委員会
住所：金沢市角間町 角間内線2105
直通電話(076)262-6009 (FAX同じ)
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホームページ http://www.ku-union.org

2009年6月25日

通巻 1108 号

この号の内容

全大教地区別単組代 報告	1P
未払い賃金の支払いを再要求	2P
国立大学埋蔵金問題	2P
ボーナスカットについて思うこと	3P
病院ふれあいミニコンサート 他	4P

全大教、関東甲信越地区単組代会議に参加して

去る5月30日・31日越後湯沢に於いて、標記会議がありました。本来なら中部地区に参加の予定でしたが、あらかじめ日程の都合が悪い場合は他の地区に参加できると、越後湯沢温泉につられて参加してきました。

参加者は15単組、16名の参加者で自己紹介が始まり、みなさん熱心な思いが伝わってきました。はじめに全大教の報告。文科省との会見「運営交付金算定ルール等基盤経費充実」の問題点、大学関連補正予算の説明や次期中期目標をめぐる大学の動き、「過半数の組合づくり」など。病院系での春のオリエンテーション拡大が看護師さんを中心に進んだ取り組みでは、14単組代表者473名増と報告されました。さらに非常勤職員の雇用継続の取組や15分短縮による時間単価問題の獲得問題が報告されました。常勤職員は人事院勧告を準拠していますが、非常勤職員に対しては、時給単価改正なしの大学は山梨、名工大、大教大など法人化以降、非常勤職員の他大学との格差がかなり出てきていると感じました。

また、6月期、期末勤勉手当の0.2ヶ月減額強行を許さず、「労働契約法のあらまし」を手引きに、粘り強く交渉継続を。不利益変更については労働者と合意することなく、就業規則を変更することはできないと2008年3月労働契約法が改定されている。大学法人と法令遵守するよう粘り強く協議すること。なにも6月1日までが手当の基準日であるからと5月中のわずか2週間足らずで決着しなくても、6月に

入っても交渉は可能と。島根大学では3回も団体交渉を行っているなど報告がありました。

その後、6月期、ボーナス0.2ヶ月凍結問題が各大学毎に話し合われ、関東甲信越地区は国公立大学も加盟しているの、いつも聞き及ぶ中部との状況とはちょっと違っていました。首都大学東京や横浜市立大(過半数組合)の教員は年俸制。公立大学としても、人事院勧告準拠を都議会・市議会で凍結を可決し条例を変更し、大学も準じようとするが、教員は年俸制度となっている関係で、交渉も譲れないなどもあり、事務方もどこをどう改正すれば良いかやり方が判らない。

また関東地区の大学では6月1日基準日には関係なく、翌週から交渉や6月1日や3日、4日を交渉に予定している大学がほとんどで意外に感じました。新潟大では5/21予備折衝、5/27本交渉、5/29全学集会を開催するなど組合は粘り強く頑張ったが、大学側は5/29に周知させたいと強行通知した。東大の大学側は人勧準拠とは言わず、重要な参考資料としている。組合側はボーナスカット部分は給与改善に使用し、非常勤職員への一時金・再雇用者の一時金の改善も要求した。他単組ではほぼ似たような回答と時間切れで決裂し、8月の人事院勧告がどう出てくるか、代償措置をこれから要求し、交渉して行くことなど2日間の大半はこの6月期ボーナス減額問題の交流会でした。(H)



JOIN US!

あなたも金沢大学教職員組合へ
〈拡大キャンペーン7月末まで延長〉

JOIN US!



4月から実施してきました組合員拡大キャンペーンを7月末まで延長いたします。みなさん、まわりの方への組合加入の呼びかけを引き続きお願いいたします。加入いただけた場合は、加入者へは「歓迎のお祝い」を、お誘いされた支部には還元金をお届けします。

未払い賃金の支払いを再要求

〈労働基準法第37条に違反 大学は全職員に支払う義務あり〉

2009年6月12日

国立大学法人金沢大学
学長 中村 信一 様

金沢大学教職員組合
執行委員長 直江 俊一

超勤費過去2年分の未払い賃金の支払いを要求します

去る4月1日付けにて、金沢大学は労働基準監督署による勧告に従い超勤費の時間単価算出方式を人事院規則から労働基準法の基準に変更し、2009年4月より就業規則を改正し実施しています。これにより、金沢大学が国立大学法人に変わった時点から未払い状態が発生していることが確認され、それに対応した措置が法律上求められています。少なくとも、過去2年間分の支払いの義務が生じています。

金沢大学教職員組合は、該当教職員全員に対し、未払い分を7月30日までに支給するよう要求します。

以上の件について、6月30日までに文書をもって回答するよう求めます。
コンプライアンスを旨とする大学として速やかに対応されることを期待いたします。

金沢大学にも埋蔵金ある??

国立大埋蔵金300億円

財務省、積極活用要請へ

全国に90ある国立大学に07年度以降で約3千億円の「埋蔵金」があることが財務省の調査で分かった。各大学の毎年度の予算の剰余金を合計したもので、財務省は今後、文部科学省や各大学に積極的な活用を促し、当面の交付金の抑制につなげたい考えだ。

国立大学は04年度に国立大学法人化。目的ごとに細かく

予算を決めていた仕組みを改め、基礎的な運営費として一括交付し、大学の裁量で使い道を決められるようにした。予算が余った際も、国庫に返納する必要がなくなった。

「独立採算」の色合いを強めたことで効率化が進み、04～06年度は1～4大学が赤字

これまでの大学と組合との交渉において常に出された理由としては、「大学はお金がない」との言い方であった。非常勤職員のボーナス支給などはこの理由によってこれまで実現してこなかった。ところが、**大学にはお金があるのである!!**左記の記事によれば、埋蔵金(目的積立金)は国庫に**ポツシュウ**される運命にあるようである。大学当局は経営者としての判断を求められていると言える。

だったが、07年度は全大学で黒字化を達成。04年度から毎年700億、1100億円の予算が未使用のまま残り、4年間の総額は3001億円。各大学が施設整備費や物品購入費、研究開発費、人件費などに自由に使うことが可能で、財務省はこれを「埋蔵金」と位置づけている。

政府は「骨太の方針06」に基づいて、国立大学への交付金を07年度から1%ずつ削減している。

大学側からの反発は強いものの、財務省は予算の効率運用の維持を求めるとともに、「埋蔵金」の積極的な活用を促して交付金の増額を回避したい考えだ。(山口博敏)

(朝日新聞2009年6月6日より転載)

大学教員もけっこう苦しい

わが家の家計のやりくりを考える季節といえば、特に夏のボーナス時である。毎月の給与はほぼ使い切っている状況で余裕はない。物価や諸経費の値上がりなどが直撃し、まして将来のための貯金も増えず、重苦しい気分の中で、ボーナス時は気分も変え、家族にも楽しいことも考えて……と、年間における生活の節目となっている。

夏のボーナスについては、家のローンに25万円、2人の子どもの学資保険に20万円、滞った書籍代に20万円、学会費5万円など、支払い予定のものが並んでくる。夏休みの家族旅行に20万円や秋の国際会議30万円などにも期待したいところであると思っている。

しかし5月1日のニュースで夏のボーナス0.2ヵ月分凍結という想定外の展開に驚かされた。0.2ヵ月分とはいくらになるのか？と一瞬顔を曇らせ、暗算してみると約10万円になる。冬のボーナスも同じ

ことになるとうらやま20万円も減ることになる。国立大学法人となり約5%給与が減ったところに公務員並に賃金引き下げに協力させられている。今回がことの始まりで、今後さらに様々な口実で引き下げが行われるのだろうか？

公務員は「楽をしている」「恵まれている」といって、とかく非難の対象にされているが、果たして本当か改めて考えてみた。請手当てまで含めて年収750万円だが、天引きされる税金・共済関係に各種税金や保険料などで年間約240万円、家のローンに年間170万円、研究者であることから書籍代から研究調査のための旅費などの自己負担を考えると年間100万円程度かかる。とすれば、生活費にあてる部分は年間240万円程度となり、決して高い給与とは言えない。

とにかくボーナス減額年間約0.5ヵ月分により、家族旅行も国際会議も見合わせるしかないと考えてしまう。
(一教員)

6月期期末・勤勉手当を0.2ヵ月分減額に思うこと

6月8日、大学から6月期期末・勤勉手当を0.2ヵ月分凍結するとのお知らせがありました。このことについて、ひとこと言いたいと思います。

私は30年間フルタイムの非正規職員として金沢大学に勤めています。年齢から言えば、社会的には主任や係長クラスでしょうか。日々の勤務では、こういったことを気にしないようにしていますが（気にすると働く意欲を失ってしまうため）、しかしこの時期だけは自分の、そして、同じ立場の非正規職員の身分の低さを感じてしまいます。

私たちの給料は、月給ではないので、一か月の勤務日数によって大きな開きがあります。ゴールデンウィークやお正月休みがある月は何万円単位

で収入が減ります。ですから、はっきり言って祝日はうれしくありません。給料は養育費や生活費に消え、（またはローンなどをかかえている方もおられると思いますが）、ボーナスもまたこどもの大学の授業料などに消えてしまいます。授業料が払えないと、まわりまわって私たちの給料にも影響があるのでしょね。悪の連鎖ですね。

今回の0.2ヵ月凍結は、本当に困ります。大学は「大学法人」になったのですから、人事院に従うボーナス凍結より、残業を減らしたほうが、実質的な経費の減になると思うのですが違うでしょうか。そしてCO2も減らせるのではないのでしょうか。
(一非常勤職員)

パート職員にもボーナスを出してください！！

年に2回、何も思わない、何も感じない、そう自分自身に言い聞かせながら過ごす日があります。それがボーナス支給日。みなさんは、そういう仲間が同じ職場にいることを知っていますか。その日はある意味、全教職員にとって特別な日。

だから、ボーナスの支給がない私は、組合ニュースで「ボーナス」の文字が出る度に目を皿のようにして、何か進展が！？と思うのです。「払えない」の一言で終わられては、身も蓋もありません。そして、その度に「非常勤のボーナスを支給する

と、そんなに大学の予算を圧迫してしまうのかしら？財務レポートを見てもよくわからないし、非常勤にボーナスを支給した時の合計試算額を教えてください！私たちっていったいどう思われているの？」と思うのです。悲しいです。金沢大学が日本の大学のベスト10を目指すなら、雇用に関してもベスト10、いいえ！NO.1を目指してください！全教職員が同じ気持ちで、特別な日としてボーナス支給日を迎えられる日が来ることを切に望んでいます。
(一パート職員)

♪ ぶゆあ / コンサート ♪

金沢大学教職員組合では、日頃のご協力への感謝もこめて、院内コンサートを企画しました。女性管弦楽トリオのやさしい音色に親しみ、ゆったりとしたひと時を楽しんでください。



とき 7月25日(土)
11時00分~12時00分
ところ 附属病院内 外来棟4階 宝ホール



女性管弦楽トリオ
フルート : 赤尾明紀
ヴァイオリン : 藤原 朋代
ハープ : 上田 智子

演奏曲目
エルガー/愛の挨拶
パッヘルベル/カノン
アイルランド民謡/ロンドンデリーエア
ジュナン/ベニスの謝肉祭 他

入場無料 どなたでもお気軽に

次期本会役員候補者募集

2009年6月25日

組合員 各位

金沢大学教職員組合
選挙管理委員長 松田 洋介
再 公 示

金沢大学教職員組合規約第25条、第28、第33条及び「選挙および一般投票管理規則」にもとづく2009年度執行部役員・監査委員選出の選挙を下記の通り実施します。

記

1. 選出する役員
執行委員長1名、副委員長1名、書記長1名、書記次長1名
会計委員1名、執行委員若干名、監査委員3名。
2. 立候補及び推薦受付期間
6月26日(金)午前9時~7月2日(木)午後5時まで。
届出は、文書で選挙管理委員会(組合事務所内)まで提出のこと。
3. 投票日
自 2009年7月10日(金)午前9時
至 2009年7月16日(木)午後5時
4. 投票場所
各分会の選挙管理委員が指定する場所。
5. 開票日
2009年7月16日(木)午後5時半~
6. 開票所
組合本部会議室

活動日誌

6月

4月~7月 組合員拡大月間

9日 第6回中期目標・計画検討

WG会議

10日 第3回組織部会

11日 第1回選挙管理委員会

第19回執行委員会

12日 超勤費未払い賃金の支払い

要求書提出

16日 第5回女性部役員会

17日 女性部リラックス体操

19日 第3回推薦委員会

25日 第20回執行委員会

